

令和3年度 事業報告

1. 事業概況

新型コロナウイルス感染症の拡大は、都市部ばかりではなく地方においても個人消費の冷え込みを生み、多大な影響を与えております。年度末を迎える頃には、追い打ちをかけるように国家間の紛争によって世界情勢が不安定となり、エネルギーや食料品が高騰し、私たちの家庭生活を脅かす状況は、今後においても続くと思われます。

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が掲げる、第2次会員100万人達成計画の中間年度にあり、新規入会の正会員が若干退会者数を上回り、僅かではありますが光明が差してきたように思われます。

当センターは、今年度においても公益社団法人岩手県シルバー人材センター連合会連合本部傘下法人として「受託事業」、「労働者派遣事業」、「有料職業紹介事業」と地域社会のニーズに合わせた契約形態での受注を三本柱として進めてまいりました。

そのような中で岩手県内32拠点センター中、労働者派遣実績額において今年度一番を記録しました。これは、国・県の指導にあたりまえに対応した結果であり、今後においても正しい派遣事業に取り組んでまいります。

その一方で受託事業における就業率100%の継続は、残念ながら途絶える結果となりましたが、働くことばかりでなく社会貢献活動等シルバー人材センターに求められる多様な変化に対応すべき時期に来ていると感じているところであります。

補助事業が終了して3年度目となった駅前さろん「銀」については、経営上も運営上も厳しい中ではありましたが、女性をターゲットに絞ったイベント開催に取り組み、利用されるよう取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響や品揃え確保、新規事業にも苦慮し、簡単ではないことを強く感じさせられた一年となりました。

なお個別の計画に対する取り組みの状況については、以下のとおりであります。

第1 会員、補助金の状況

1 会員の状況

(単位：人)

	今年度末会員数	入会会員数	退会会員数	前年度末会員数	増 減
男	144	19	13	138	6
女	67	10	8	65	2
計	211	29	21	203	8

2 補助金の状況（事業実施のための財源報告）

- (1) 厚生労働大臣より事業実施のために、高年齢者就業機会確保事業費等補助金として、2,093千円補助、雇用開発支援事業等補助金として7,607千円補助
- (2) 遠野市長より上記事業実施のために、遠野市高年齢者就業機会確保事業費等補助金として9,700千円補助

第2 事業報告

1 雇用によらない就業機会の提供

(1) 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、地域に密着した就業機会の提供を行った。

事業目標等	目標値	実績値	達成率	備考
会員数	256人	211人	82.4%	
受注件数	1,290件	1,028件	79.7%	
就業延人数	11,110人日	7,954人日	71.6%	
配分金総額	37,000千円	30,301千円	81.9%	
就業率	100%	92.9%	92.9%	

(2) 独自事業

高齢者の就業機会を広げるため、また、地域社会に貢献し、就業を通じて社会に参加することを高齢者が独自の創意工夫により、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を創出する事業を行った。

(単位：円)

種 別	数 量	配分金	事務費	材料費	合 計
県内シルバー販売	1回	10,522	1,578	0	12,100
門松製作販売	82対	510,519	76,578	12,903	600,000
産直コーナー	12月	2,958	442	0	3,400
駅前さろん「銀」シルバー産直等	12月	290,393	43,561	677,146	1,011,100
合 計		814,392	122,159	690,049	1,626,600

2 雇用による就業機会の提供

(1) 有料職業紹介事業

仕事を希望する一般高齢者及び会員を対象とした求人・求職による就業機会の提供を行った。

事業目標等	目 標 値	実 績 値	達成率(%)	備 考
受注件数	4件	6件	150.0%	
就業延人数	200人日	818人日	409.0%	
賃金総額	1,664千円	5,178千円	311.2%	

(2) 労働者派遣事業

労働者派遣事業の派遣元である連合本部の実施事務所として会員を対象に、労働者派遣による就業機会の提供を行った。

事業目標等	目 標 値	実 績 値	達成率(%)	備 考
受注件数	60件	115件	191.7%	
就業延人数	2,472人日	6,224人日	251.8%	
賃金総額	27,000千円	24,105千円	89.3%	

3 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

(1) 講習事業

就業上必要な技能、知識を付与することにより、多様な就業に結びつけるための学習経験の機会として、市民や会員を対象に以下の講習会を実施した。

- ①携帯電話講習 2回(19名)
- ②機械草刈り作業時の飛び石対策勉強会 1回(4名)
- ③接遇講習(教育訓練) 1回(11名)

第3 事業推進のための活動

1 事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

高齢者の生きがいの充実と福祉の向上を図り、活力ある地域づくりに寄与するため、また、上記第2の事業及び社会参加活動を推進するための活動として以下のとおり実施した。

(1) 普及啓発事業

シルバー事業への理解と高齢者の加入促進及び意識啓発を目的とし、次の事項を重点に実施した。

- ① 一人1会員勧誘運動及び会員100万人マグネットシートでの啓発
- ② 女性会員増強に向けた女性限定イベントの開催（女子会3回、おやつづくり1回）
- ③ 遠野テレビでの会員募集CM
- ④ 普及啓発促進月間活動（シルバー人材センター幟旗掲出）
- ⑤ ホームページ、マスメディアへの情報提供（ケーブルテレビ）
- ⑥ 会報の発行2回（発注者・各公共機関）、市民向け「シルバーだより」の発行
- ⑦ 車両への「会員募集」マグネットシート貼付
- ⑧ 駅前さろん「銀」によるシルバー人材センター事業の啓発及び会員の拡大

(2) 安全・適正就業の推進

会員が自らの健康維持と安全の確保を図りながら、提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、以下のとおり安全意識の高揚と啓発活動を実施した。

- | | |
|-------------|-----------|
| ① 安全衛生管理委員会 | 2回 |
| ② 安全大会 | 1回（28名参加） |
| ③ 交通安全教室 | 1回（12名参加） |
| ④ 普通救命講習 | 1回（8名参加） |
| ⑤ 安全パトロール | 10回（12現場） |
| ⑥ 適正就業勉強会 | 随時 |

(3) 調査研究

高齢者の就業分野を支える有用な社会システムとしての機能を果たすためには、社会経済環境の変化、高齢者の就業に対する意識の変化に対応した事業の展開が求められることから、以下について実施し事業の策定に活用した。

- ① 会員の就業に関する状況調査（会員129名）

- ② 会員6か月経過者研修（会員7名）
- ③ 一般市民に向けたアンケート（8名）

（4）就業分野の開拓・拡大

会員にふさわしい仕事を受注することで、会員の確保とともにセンターの事業の発展・拡大にもつながることから、以下のとおり実施し高齢者の職業能力や経験を把握分析し、地域のニーズに対応する仕事の提案等を行った。

- ① 一人1仕事獲得による就業機会の拡大
- ② 会員参画によるリーフレット等を利用した口コミ説明
- ③ 野外就業の際センター幟旗の掲出
- ④ センター名入りマグネットを会員車両に貼付
- ⑤ 企業等訪問
- ⑥ 駅前さろん「銀」による会員の就業機会の拡大

（5）相談・情報提供

入会希望の高齢者を対象に入会説明会を実施し、ハローワーク、連合会と連携し雇用、就業等に係る相談及び情報提供を行った。

- ① 入会希望者説明会（毎月2回開催、41名参加、内26名入会）
- ② ふるさと就職ガイダンス等への参加
- ③ シルバー人材センター事業説明会（未実施）
- ④ ハローワークとの情報交換

（6）社会参加活動の推進

自主的活動に対する意識や、共助の精神で共働するという意識を高めることをボランティアや社会参加等を通して活動する機会を提供した。

- ① 草取・清掃作業 遠野駅前周辺（14名）
- ② 各地域班毎清掃・草取等作業 市内19箇所（129名）
- ③ 下校児童の「みまもり隊」活動（延558回）

（7）その他

遠野市をはじめとする関係機関と連絡を密にし、適正な事業運営に努めました。